

授業概要

心理学のテーマで卒業論文を書くことで、文献検索、文献精読、プレゼンテーション、データ収集、データ分析、考察、論文執筆などの一連の研究方法を習得すること。心理学的な思考や研究法を身につける

授業計画

第1回	オリエンテーション 今後の研究計画	第16回	オリエンテーション (今後の進め方)
第2回	研究テーマの発表と検討 (1)	第17回	研究調査の検討 (1)
第3回	研究テーマの発表と検討 (2)	第18回	研究調査の検討 (2)
第4回	研究テーマに関する文献発表 (1)	第19回	調査・実験の実施 (1)
第5回	研究テーマに関する文献発表 (2)	第20回	調査・実験の実施 (2)
第6回	研究テーマに関する文献発表 (3)	第21回	研究データの分析と統計 (1)
第7回	研究計画と研究方法 (1)	第22回	研究データの分析と統計 (2)
第8回	研究計画と研究方法 (2)	第23回	研究成果の作成 (1)
第9回	予備調査 (1)	第24回	研究成果の作成 (2)
第10回	予備調査 (2)	第25回	研究データの発表と検討
第11回	研究データの分析 (1)	第26回	卒研発表会に向けて資料作成
第12回	研究データの分析 (2)	第27回	卒業論文の執筆 (1)
第13回	研究計画の見直し (1)	第28回	卒業論文の執筆 (2)
第14回	研究計画の見直し (2)	第29回	卒研発表会に向けての練習 (1)
第15回	研究テーマと計画の発表	第30回	卒研発表会に向けての練習 (2)
		第31回	卒業研究論文の提出

到達目標

卒論を書くことで、心理学の研究方法を体系的に習得して、心理学的な視点や心理学的研究方法を駆使してできるようになること

履修上の注意

全員履修で必修科目である。無断欠席はしないこと。就職活動でやむを得ず休み時は、事前に連絡すること

予習復習

次回までの卒研課題があるので、それを次回までにこなしておくこと

評価方法

ゼミに参加するときの学習状態、卒研発表会、提出された卒研の内容などを総合的に評価する

テキスト

とくにない。必要に応じて、資料を配布する。

授業概要

学校臨床心理学の領域を中心に、専門演習などの授業の蓄積した知識を踏まえて、実証研究を実施する。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	研究論文の体裁1（問題と目的）	第17回	データ収集方法の検討1
第3回	研究論文の体裁2（方法部分の記載）	第18回	データ収集方法の検討2
第4回	図表の書き方	第19回	中間構想発表会1
第5回	研究論文の結果の書き方	第20回	中間構想発表会2
第6回	考察部分の記載内容について学ぶ	第21回	データ分析結果報告1
第7回	引用文献の記載方法について学ぶ	第22回	データ分析結果報告2
第8回	関心あるテーマの発表1	第23回	分析結果を図表にまとめる
第9回	関心あるテーマの発表2	第24回	考察の執筆について
第10回	各ゼミ生の問題点の討論1	第25回	論文の中間報告1
第11回	各ゼミ生の問題点の討論2	第26回	論文の中間報告2
第12回	テーマに関する社会への応用について	第27回	論文の最終報告1
第13回	秋期の研究スケジュールについて	第28回	論文の最終報告2
第14回	春期の振り返り	第29回	まとめ1
第15回	夏休み中の作業内容の確定	第30回	まとめ2

到達目標

- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を集めることができる。
- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を何度も読み、内容を理解できる。
- ・科学的手法に基づき、心理学研究を実施し、論文として適切にまとめることができる。

履修上の注意

- ・学科の専門必修科目の他、学校心理学、福祉心理学、学校臨床心理学、などは参考になります。

予習・復習

- ・発表準備のための予習・発表後の振り返りは必ずするようにしてください。
- ・仲間の発表に対しても積極的な意見を発表するようにしてください。

評価方法

発表レポート(40%)、ディスカッションへの参加度(30%)、毎回提出するミニレポート(30%)などにより、総合的に評価します。

テキスト

- ・必要に応じて資料は配布します。
- ・参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示します。

授業概要

- ・自分が興味関心のある分野を広げるために、世の中の事象や時事問題について探求する。
- ・論文作成を通じて、文書の書き方、図表の作成、情報収集といった実力を習得する。
- ・文献検索をくり返し行い、情報リテラシーを高める。
- ・来年度の卒業論文作成への動機づけを高める。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	論文・資料の集め方1	第17回	より詳細な論文、資料の集め方1
第3回	論文・資料の集め方2	第18回	より詳細な論文、資料の集め方2
第4回	論文・資料の集め方3	第19回	卒業論文の書き方1
第5回	発表資料の作成方法1	第20回	卒業論文の書き方2
第6回	発表資料の作成方法2	第21回	卒業論文の書き方3
第7回	発表資料の作成方法3	第22回	各自発表：卒論進捗状況報告1
第8回	各自発表1	第23回	各自発表：卒論進捗状況報告2
第9回	各自発表2	第24回	各自発表：卒論進捗状況報告3
第10回	各自発表3	第25回	各自発表：卒論進捗状況報告4
第11回	各自発表4	第26回	各自発表：卒論進捗状況報告5
第12回	各自発表5	第27回	各自発表：卒論進捗状況報告6
第13回	各自発表6	第28回	各自発表：卒論進捗状況報告7
第14回	各自発表7	第29回	まとめ
第15回	まとめ	第30回	卒論発表予行演習1回目
		第31回	卒論発表予行演習2回目

到達目標

- ・できるだけ早めに卒業論文で書こうとするテーマをしぼっていく。
- ・テーマに関連する文献や資料を収集する力をつける。
- ・文献や資料の内容を理解できるようにする。
- ・毎日の授業をメモ、ノートを取り、理解力を高める。

履修上の注意

・演習は学生主体で行われるものなので、無断欠席は認めない。出席できないときは必ず「ほうれんそう：報告・連絡・相談」をすること。全出席するという強い意志を持って参加すること。

予習・復習

- ・授業の準備に時間をかけること。
- ・スマホだけでなく、自分の頭、手、耳、目、足など体を活用して調べること。

評価方法

評価基準は授業への参加と発表(3割)、授業中の課題への取り組み(3割)、期末試験(4割)である。

テキスト

最初の授業で紹介する。その他参考書等については、必要に応じて授業の中で紹介する。

授業概要

卒業論文または卒業研究の執筆・提出を目的とします。

各個人で興味のあるテーマを設定し、先行研究のレビューした上で、先行研究の問題点を明らかにし、卒業論文・研究において明らかにしたい事柄（目的）・仮説（予測される結果）を設定します。

その上で、様々な方法（質問紙法、実験法、面接法）を用いて、調査研究を行います。

得られたデータを入力・分析し、仮説検証を行った上で、卒業論文・研究として執筆します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	質問紙回収
第 2 回	テーマの設定	第 17 回	データ入力
第 3 回	先行研究の精読 1	第 18 回	SPSS の操作方法
第 4 回	先行研究の精読 2	第 19 回	記述統計
第 5 回	先行研究の精読 3	第 20 回	差の検定
第 6 回	先行研究の精読 4	第 21 回	多変量解析（因子分析）
第 7 回	先行研究の問題点	第 22 回	多変量解析（相関、回帰、その他）
第 8 回	問題と目的の論文化	第 23 回	結果の読み取りと図表作成
第 9 回	調査手続きの検討	第 24 回	手続きと結果の論文化
第 10 回	尺度の選定	第 25 回	考察の論文化
第 11 回	分析の検討	第 26 回	論文執筆 1
第 12 回	質問紙作成	第 27 回	論文執筆 2
第 13 回	研究倫理書類作成	第 28 回	論文執筆 3
第 14 回	調査先への依頼	第 29 回	論文執筆 4
第 15 回	質問紙配布	第 30 回	パワーポイントの作成
		第 31 回	配布資料の作成

到達目標

- ・卒業論文または卒業研究を執筆すること
- ・自分自身の興味がある心理学的現象について理解を深めること

履修上の注意

- ・心理学の分野の中でも、パーソナリティ心理学、臨床心理学等の領域で卒業論文執筆を希望する方。
- ・積極的・主体的に授業および調査研究に参加する姿勢をもつこと。

予習・復習

授業内容の特性上、発表レジュメ作成、質問紙配布、データ分析、卒業論文執筆等があるため、授業時間外での活動があります。

評価方法

卒業論文およびそれまでの授業態度を評価対象とします。

テキスト

特になし。必要があれば、授業内で別途指示します。

授業概要

3年間で学んだことを踏まえ、各自研究テーマを決めて研究方法を検討し、卒業論文を完成させることを目的としている。研究テーマに沿って必要な資料やデータを収集し、分析、考察していく力を身に付ける。研究に取り組む過程で、プレゼンテーションを行うことにより、研究課題への理解を深め、最終的に論文をまとめる。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	関心のある研究論文の発表1	第17回	更なる論文、資料の収集の仕方
第3回	関心のある研究論文の発表2	第18回	方法の検討1
第4回	テーマの設定	第19回	方法の検討2
第5回	先行研究の読解1	第20回	調査・実験の実施1
第6回	先行研究の読解2	第21回	調査・実験の実施2
第7回	先行研究の読解3	第22回	調査・実験の実施3
第8回	先行研究の課題4	第23回	結果の整理1
第9回	先行研究の課題5	第24回	結果の整理2
第10回	問題点の討論1	第25回	考察のまとめ1
第11回	問題点の討論2	第26回	考察のまとめ2
第12回	問題点の討論3	第27回	卒業論文の執筆1
第13回	問題と目的のまとめ1	第28回	卒業論文の執筆2
第14回	問題と目的のまとめ2	第29回	卒論発表予行演習1
第15回	問題と目的のまとめ3	第30回	卒論発表予行演習2

到達目標

- ・研究テーマに関わる文献、資料を収集し、内容を理解できる。
- ・これまで学んだことを心理学的視点で考えられる応用力、論理的思考力を習得する。
- ・4年間の集大成として卒業論文を書き上げることができる。

履修上の注意

- ・無断欠席はせず、欠席する場合には連絡すること。
- ・主体的に参加すること。
- ・毎回の授業内容をノート等に記録すること。

予習・復習

- ・毎回の課題について、自ら積極的に調べておくこと。

評価方法

卒業論文と卒論発表、毎回の課題提出等をふまえ、総合的に評価する。

テキスト

- ・特になし。必要に応じて紹介する。